

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」 家庭教育支援活動の取組事例

子どもを中心とした家庭、学校、地域が連携する家庭教育支援活動(岩手県 二戸市)

取組の概要や経緯

多様な地域の実情を踏まえ、家庭教育支援を始めとした教育振興運動の推進を図り、家庭、学校、地域を含めた社会全体で親子の学びや育ちを支えていく環境づくりを目指してきた。二戸市における教育振興運動は昭和40年から取り組まれている。子どもを中心とした家庭、学校、地域、行政など関係者がそれぞれの役割と責任を自覚し相互の連携及び協力に努め、心豊かな人間を育成することを目標としている。



内容

二戸市教育振興運動推進協議会を中心にして、実践区は各小中学校別の12実践区あり、地域や学校の実情に応じながら特色を活かし活動をしている。さらに、児童・生徒に関わる大人に対して家庭教育に生かせる学習機会の提供や『家庭教育の手引き』等を活用した家庭教育の取り組み方について啓発や周知を行っている。年に一度開催する集約集会では実践区の活動状況の発表や意見交流、家庭教育をテーマとした講演により課題の共有や意識の高揚を図っている。また、浄法寺地区では園児から小学校、中学校までが一堂に会し発表や家庭教育に生かせる講演を行い、各家庭を始め地域全体で子どもを育む機運の醸成を図っている。



ポイント

小学校から中学校までそれぞれの年代に応じた、家庭での学習の取り組み方や望ましい生活習慣の身につけさせ方についてまとめた『家庭教育の手引き』を市内全小中学生の家庭に配付。共有の素材として活用し家庭教育の啓発を行っている。

成果

- ・子どもを中心にして家庭、学校、地域を対象に家庭教育に関わる様々な学びの機会の提供、実践区での活動状況の発表、意見交流などにより時代に即した課題の共有や子育て、家庭教育に関する意識の醸成や、関係者の交流・連携が深まってきている。
- ・『家庭教育の手引き』等の作成及び配付、ホームページでの公開等により各実践区や家庭での取組に役立っている。

今後の方向性

- ・家庭、学校、地域の連携をより一層深め、教育振興運動の更なる充実を図り、地域全体で子どもを育む機運を高める。
- ・家庭教育での活用につながる講演や学習機会の提供を計っていく。
- ・『家庭教育の手引き』が実際の活用につながるよう支援策などを検討する。